



国立大学法人

筑波技術大学



聴覚障害者、
視覚障害者のための
国立大学です。

日本でただ一つの

伝わる大学
伝える大学



令和4年度職員募集案内

INDEX

学長メッセージ	1
筑波技術大学について	2
事務組織と業務内容	2
職員インタビュー	3
教育研究組織について	8
勤務条件等	9
キャンパスの所在地	11
アクセス	12
採用担当係から一言	13
MEMO	13

学長メッセージ



国立大学法人筑波技術大学 第4代学長 石原 保志

筑波技術大学は、聴覚障害者、視覚障害者のための高等教育機関として1987年に三年制短期大学として設立され、2005年に四年制大学となり現在に至っております。教育に関しては、少人数教育の下、多様な発達の特性の学生の実態に即した学修者本位の教育が、授業だけでなく学生生活の様々な場面で展開されています。

近年、大学に進学する障害者の数は増加の一途を辿っており、障害学生が学ぶ高等教育機関では合理的配慮を具現化する方策が検討、実施されるようになってきました。このような社会的変化の中で、筑波技術大学の教育における強みは何か。それは、他大学が障害学生の学修、学生生活における活動参加上の不利益を補うことを、いわゆる障害学生支援と位置づけているのに対して、筑波技術大学は障害を補償するだけでなく、学生の潜在能力を顕在化させ、知の基盤となる情報を意図的に付加するといった“教育的支援”を行っているということです。聴覚や視覚に障害がある学生に情報を確実に伝達する、情報を知識として吸収し多分野の知識を統合する、そして知識を知恵に昇華させていくという、教育の本質的役割あるいは機能を、筑波技術大学では特に意識して実践しています。この実践を通して培われた知見は、本学の研究を通して社会に公開されており、また本学が中核となって行っている他大学の障害学生支援に役立てられています。

2019年度から開始した社会人障害者を対象としたリカレント講座では、従前の卒業生対象講座で得られたノウハウを基に、学校卒業後の障害者全般の生涯学習のニーズに応えていくとともに、高大連携事業及び企業等と連携した事業をいっそう充実させることで、理念にとどまらない実質的なインクルーシブ社会の実現に貢献しています。

最後に、聴覚、視覚障害者のために創られた我が国唯一の国立大学法人である筑波技術大学の職員として、みなさんとともに働くことができる日を楽しみにしています。

筑波技術大学について

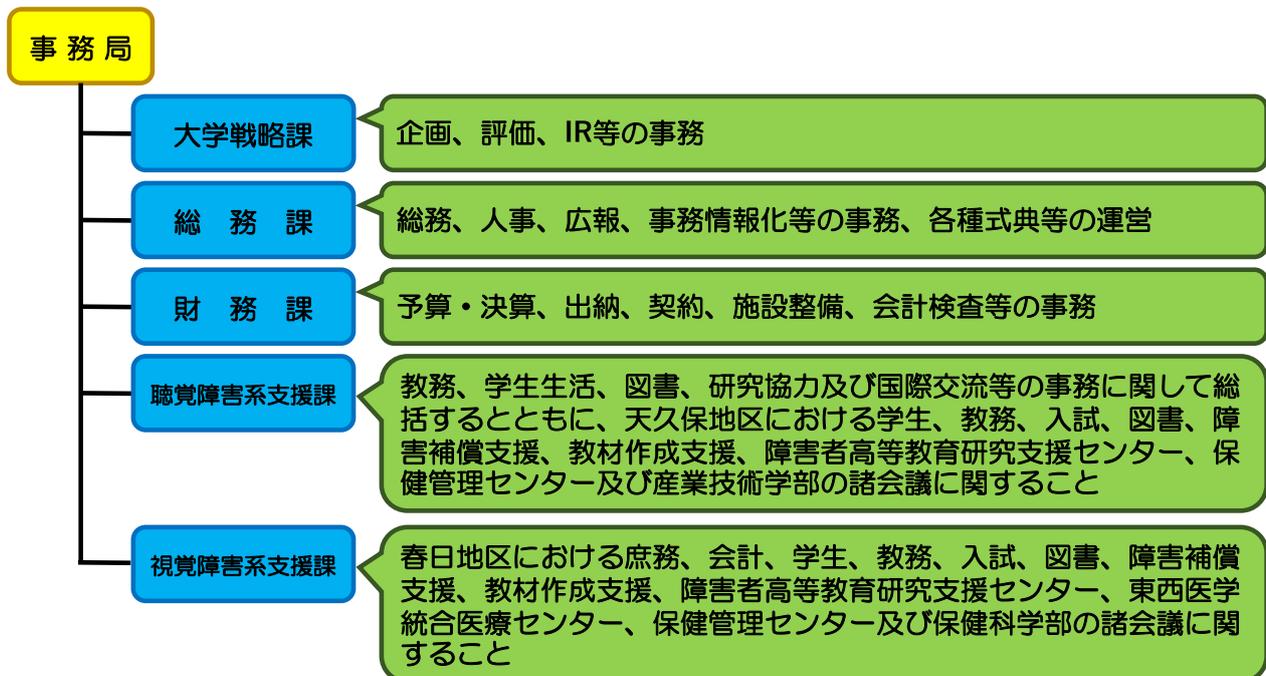
筑波技術大学は、聴覚・視覚障害者のための我が国唯一の高等教育機関として、これからの知識基盤社会に対応するため、個々の学生の障害特性に配慮した教育を通じて、幅広い教養と専門的、応用的能力をもつ専門職業人を養成し、両障害者が社会的自立を果たし自ら障害を持つリーダーとして社会貢献できる人材の育成を図るとともに、新しい教育方法の研究と実践を通して国内外の障害者教育の発展に資することを基本的な目標としています。

この基本的な目標を踏まえ、高等教育の内容に関わる各専門分野の研究の推進を図るとともに、最新の科学技術を利用して聴覚・視覚の障害を補償する教育方法・システム等を開発し情報授受のバリアのない教育環境の構築に努めています。

また、聴覚・視覚障害学生を受け入れている他大学等に対する支援や、世界各国の高等教育機関との障害者に係る教育研究に関する国際交流活動等を推進し、さらに、東洋医学と西洋医学を統合した教育研究を推進するとともに、特色ある医療活動を通じて地域医療に貢献することを目指しています。

事務組織と業務内容

本学は、職員数も少なく小さな大学ですが、業務内容は、総合大学や他大学等と比べても変わりません。1つの部署において、様々な業務に携わり学ぶことができるのは筑波技術大学の魅力の1つです。



詳細は、次ページ以降の職員インタビューをご覧ください。なお、職員インタビューにおいては、令和3年度以前に撮影した写真も掲載しています。

現在担当している業務は何ですか？

大学が文科省等から受ける評価に関する仕事や、学外からの調査関係の仕事、兼任で監査の仕事を担当しています。各部署と連携しながら、本学の取組をアピールする報告書を取りまとめたり、調査に回答したり、大学全体のことを把握する必要があるため、なるべく広く情報収集をするようにして、本学の強みになりそうな取組に注目するようにしています。

筑波技術大学の魅力は何ですか？

小さい大学で、学生も教職員も少ないので、学生や教職員の顔と名前が覚えやすく、距離が近いところが魅力です。部署や職種の垣根を越えてコミュニケーションをとりながら、円滑に仕事を進めることができます。また、自分の意見を普段の仕事に反映できる機会も多く、やりがいと責任をもって仕事をしています。

仕事と家庭の両立の秘訣は何ですか？

各種休暇制度を活用することは勿論、最近是在宅勤務制度が導入され、より柔軟に働くことが出来るようになり助かっています。また、保育園に通う子どもが2人いるので、私個人としては、仕事も家庭も、スケジュールを予め把握して動くことを大事にしています。例えば、仕事では、締め切りのあるものが多いので、出来る内に早めに済ませたり、家庭では、子どもが風邪気味の時は、ひどくならない内に病院を受診させたりと、どちらもなるべく先回りで動くよう心がけています。一番の秘訣は、空いた時間を上手に使って、自分の時間を作るようにしていることかもしれません（笑）

筑波技術大学職員を目指す方へメッセージをお願いします。

聴覚、視覚障害者のための大学として特色のある本学ですが、仕事内容をイメージするのはなかなか難しいと思います。実際、私も働く前までは学生窓口業務のイメージしかありませんでしたが、学生とは直接関わらない仕事も沢山あり、



業務は多岐で、日々勉強の毎日です。皆さんの今まで得た知識、経験がどこかで生きることがきっとありますので、本学に少しでも興味がある方の積極的なご応募をお待ちしております。



現在担当している業務は何ですか？

私は現在、総務課で総務と広報を担当しています。総務では、主に法人会議のとりまとめや、個人情報保護に関すること、他機関からの照会や通知を学内に周知するなど、幅広く様々な業務を行っています。広報では、より多くの方に本学を知っていただけるよう、ホームページやSNSの編集、大学概要等の冊子を発行しています。

仕事を進める上で、心掛けていることはありますか？

上司や部下との「ほうれんそう（報告・連絡・相談）」を大切にしています。1人で仕事を進めていくことはできませんので、より多くの人を巻き込み、適切な判断をするためには、仕事のみならず、普段からのコミュニケーションも重要です。話しやすい、相談しやすい雰囲気をつくることも意識しています。

筑波技術大学の魅力は何ですか？

私の他にも子育て中の職員が多数いますし、産休、育休を取得中の職員もいます。産前・産後休暇や育児休業はもちろんのこと、仕事に復帰後は時短勤務や子の看護休暇を取得できます。これらの制度に支えられ、ライフステージが変化しても仕事を続けていける職場だと思います。

仕事と家庭の両立の秘訣は何ですか？

小学生2人の子育てをしながら働いています。両立していると自信をもって言えませんが、なんといっても職場の皆さんが状況を理解し、支えてくださっていることで続けることができていると思います。帰宅から就寝までは毎日バタバタしていますが、自動調理家電や食洗機を利用して家事の負担を減らし、家族で過ごす時間を確保しています。こどもたちの笑顔が仕事を頑張る原動力です。





現在担当している業務は何ですか？

私は現在、財務課総務・出納係として、支払業務を主に担当しております。業務内容としてはとてもシンプルですが、教職員の出張旅費、授業や研究で使用する物品の他、大学の設備の更新料など対象は多岐にわたるため大学の運営には不可欠な業務となっております。

一度の支払で多額の金額が動くため間違いの許されない業務で責任は

重いですが、無事支払いが完了したときの達成感はひとしおで、大学のお金の流れがわかるのもこの業務ならではの魅力です。

業務終了後や休日はどのように過ごしていますか？

業務終了後は週に2、3日はジムに行っています。事務職員は身体を動かす機会が少ないため、運動不足の解消と気分転換を図るためにジムに行くことにしています。休日は新型コロナウイルスの流行により回数は減りましたが、友人たちと体育館を借りてバスケットボールをしたり、スタジオを借りてギターの練習をしています。

筑波技術大学の魅力は何ですか？

職員の人数が少ないため、一人一人が幅広い業務を担当することができるという点です。配属1年目から責任のある仕事を任せてもらえるため、とてもやりがいを感じます。また、仕事の進め方でわからないことや悩みがある場合に上司や先輩職員に相談しやすいというのも職員数の少ない本学の魅力だと思います。

聴覚障害系支援課

平成24年度採用
聴覚障害系支援課
企画調整係 主任

現在担当している業務は何ですか？

私は現在、聴覚障害系支援課企画調整係で、主に教授会等の運営、大学院関係業務のとりまとめ、技術科学研究科情報アクセシビリティ専攻の入試・教務関係業務、大学入試共通テスト、国際交流、など幅広く担当しています。様々な先生方と接する機会があるため、中には聴覚や視覚に障害のある先生もいらっしゃいます。



手話通訳を手配したり、読み上げソフトに対応した資料を提供したりと、情報保障の配慮が必要な場面が多々ありますが、それが本学の大きな特徴の一つです。

筑波技術大学の魅力は何ですか？

小規模であることです。小規模ゆえに、一人ひとりが大きな戦力となり、若手であっても活躍できる場が沢山あります。また、先生方との距離も近いです。例えば、私が研究支援担当のときに、先生方の研究の「今」を伝えたら産学連携に結び付くのではと、HPに新しいコンテンツを追加し、研究紹介を執筆していただきました。すると、産学連携だけではなく、入学志願へも結びつきました。自分の企画立案が形になり、挑戦しがいのあることが魅力の一つだと思います。



どんなことをして、気分転換をはかっていますか？

父が野菜を育てているので、季節の野菜等でお菓子を作っています。去年の秋には、栗とさつまいもが採れたので、モンブランを作りました。また、紅茶が好きで、香り高いアールグレイのシフォンケーキを作るのにハマっています。出来映えはイマイチですが、粉やクリームを混ぜる工程は無心になれる作業なので、気分転換に繋がっています。

視覚障害系支援課

平成29年度採用
視覚障害系支援課
教務係

現在担当している業務は何ですか？

主に入学者選抜、いわゆる入試関係や、オープンキャンパスなど受験生の募集関係を担当しています。入学者選抜の準備・対応はもちろん、オープンキャンパスなどのイベントも担当しています。いずれも大学の入り口＝最前線での業務であること、また常に先生方と協力しながら進めていくことから、非常に大学らしい、やりがいのあるお仕事です。



業務終了後や休日はどのように過ごしていますか？

これという趣味があるわけではありませんが、部屋でゆったりと好きな音楽を聞いて過ごすことが好きです。

また近所を散歩するのも好きです。自宅からちょっと歩くと開けたところに出るのですが、晴れた日は筑波山が一望できて、心が洗われる思いです。都心にはない、自然豊かな茨城県にいるからこそ味わえるゼイタクなのではないでしょうか。

他にも最近「謎解き」に熱中しており、昼休みは気分転換に謎解きに取り組んでいます！

筑波技術大学職員を目指す方へメッセージをお願いします。

大学を選ぶ際、大規模な大学やセンセーショナルな事業を行う大学について目が行きがちですが、どんな大学にも固有の魅力・特徴があります。本誌にも記載のとおり、本学は聴覚障害者・視覚障害者のための大学であり、特にその分野においてはほかの大学と比べても全国的に抜きん出た、先導的な役割を担っています。筑波技術大学でしか携われない業務、培えない経験があります。

他の大学も見回していただきながら本学に魅力を感じていただけた方、お待ちしております！

教育研究組織について

産業技術学部

聴覚障害者を対象とする高等教育機関として、「情報処理」「ものづくり」「生活環境創り」を通して社会に参画・貢献できる専門業人の育成を図ります。また、各専門分野の研究及び教育方法・機器等の開発により教育の改善に取り組みます。

産業情報学科、総合デザイン学科



保健科学部

視覚障害者を対象とする高等教育機関として、技術革新や情報化、国際化が進む社会にあって、それらの変化に柔軟に対応できる専門的医療技術者及び情報技術者の養成を目指すとともに、健康や福祉に貢献できる専門家を育成します。

保健学科（鍼灸学専攻、理学療法学専攻）、
情報システム学科



大学院技術科学研究科（修士課程）

大学院技術科学研究科は、聴覚・視覚障害者のための大学院として、障害がありながらも産業技術や医療技術に関するより高度で専門的な知識・技術、応用能力、研究能力を備え、企業や医療現場などの要請に積極的に応え貢献できる専門技術者・研究者・指導者を養成するとともに、地域社会や職場において聴覚・視覚障害者のリーダーとして活躍できる人材を育成します。

産業技術学専攻、保健科学専攻、
情報アクセシビリティ専攻



障害者高等教育研究支援センター

障害者高等教育研究支援センターは障害者基礎教育研究部と障害者支援研究部を持ち、教養教育の編成と実践を行うとともに、障害補償システムの研究・開発及び障害者の能力開発に関する研究を進めています。また、学内支援にとどまらず、他大学に学ぶ聴覚及び視覚に障害のある学生に対する支援にも取り組んでいます。



勤務条件等

1. 給 与

- (1) 初任給（月額）：182,200 円（学歴、職歴等によりこの額より高くなることもあります。）
- (2) 期末・勤勉手当（ボーナス）：6 月、12 月の年 2 回
- (3) 諸手当：扶養手当、地域手当、住居手当、通勤手当等

2. 勤務時間等

- (1) 8 時 30 分から 17 時 15 分（昼休み：12 時から 13 時）
- (2) 休日：土、日、祝日、年末年始（12 月 29 日から 1 月 3 日）
- (3) 有給休暇：年次休暇、特別休暇（リフレッシュ休暇、結婚、忌引、子の看護、介護等）
- (4) 育児休業、介護休業、自己啓発休業等
- (5) その他：試用期間（6 か月）、夏季一斉休業、育児のための短時間勤務制度

3. 宿 舎

- つくば駅（つくばエクスプレス）から徒歩約 15 分の場所に宿舎があります。
（※大学からは、車で約 10 分）

4. 福利厚生

- 天久保、春日両キャンパスにそれぞれ、看護師が常駐し健康に関する相談に対応しております。また、非常勤のカウンセラーを配置し、教職員の心のケアにも配慮しています。
- 職員の健康増進の一環として、スポーツジムの優待利用を行っています。
- 福利厚生事業の一環として、映画鑑賞チケット等の購入補助を行っています。



5. 能力開発

- 本学では、聴覚及び視覚に障害のある学生や教員と円滑なコミュニケーションが図れるよう聴覚障害者支援研修並びに視覚障害者支援研修を実施しています。
- 職員の能力向上を目的とするSD（スタッフ・ディベロップメント）研修を実施しています。



聴覚障害者支援研修の様子

手話に関する基礎知識の他、実際に業務で想定される学生との会話（手話）について学びます。

視覚障害者支援研修の様子

点字の仕組みや読み方、点字タイプライターの使用方法などについて学びます。



相談員傾聴スキルアップ研修の様子

学生及び教職員の相談窓口である相談員が実際に相談を受けた場合を想定したロールプレイングを通じて対応方法などについて学びます。

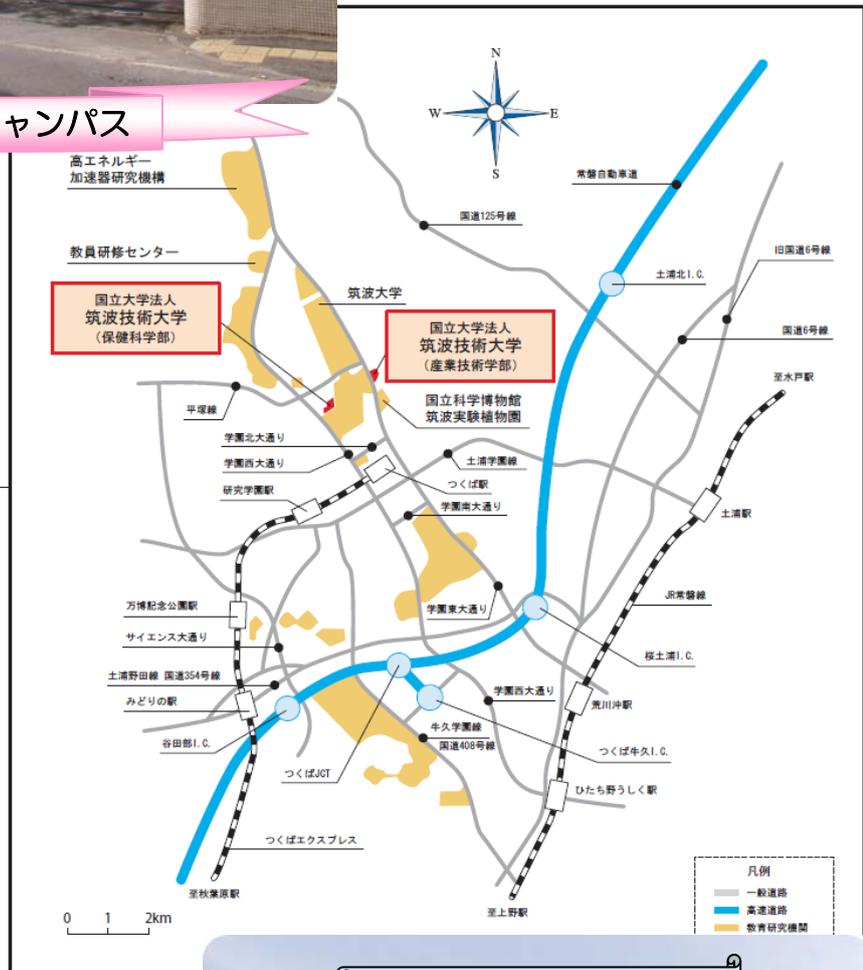


キャンパスの所在地

保健科学部



春日キャンパス

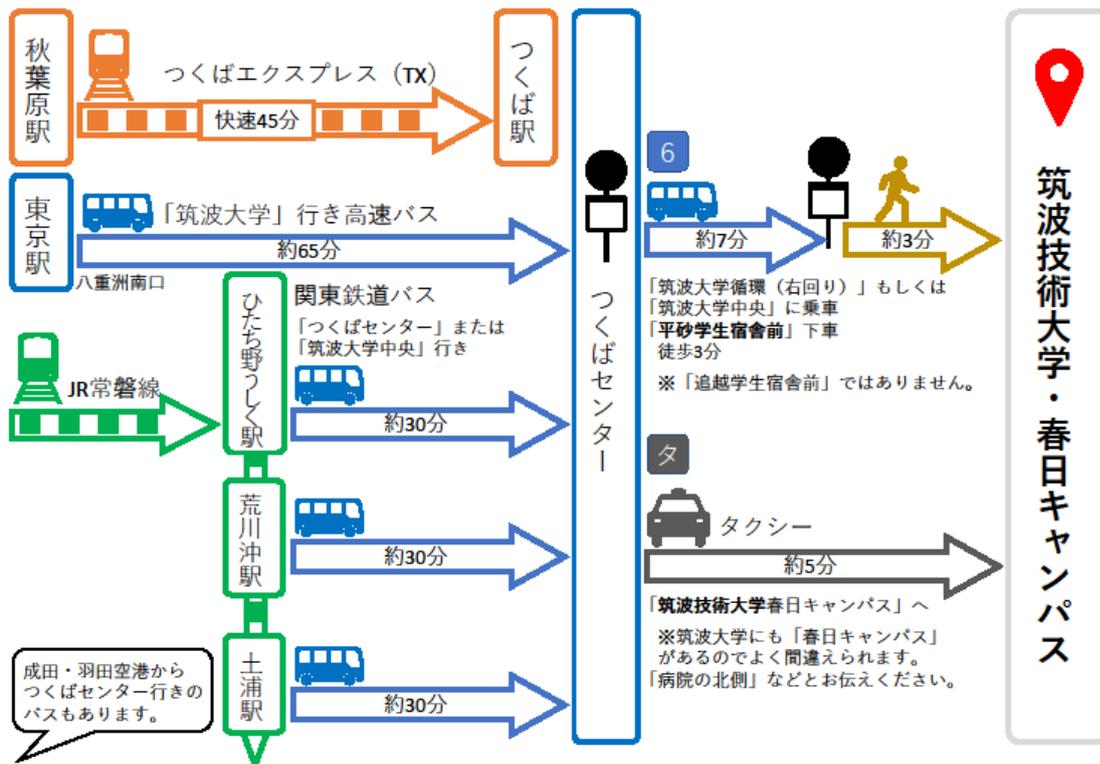
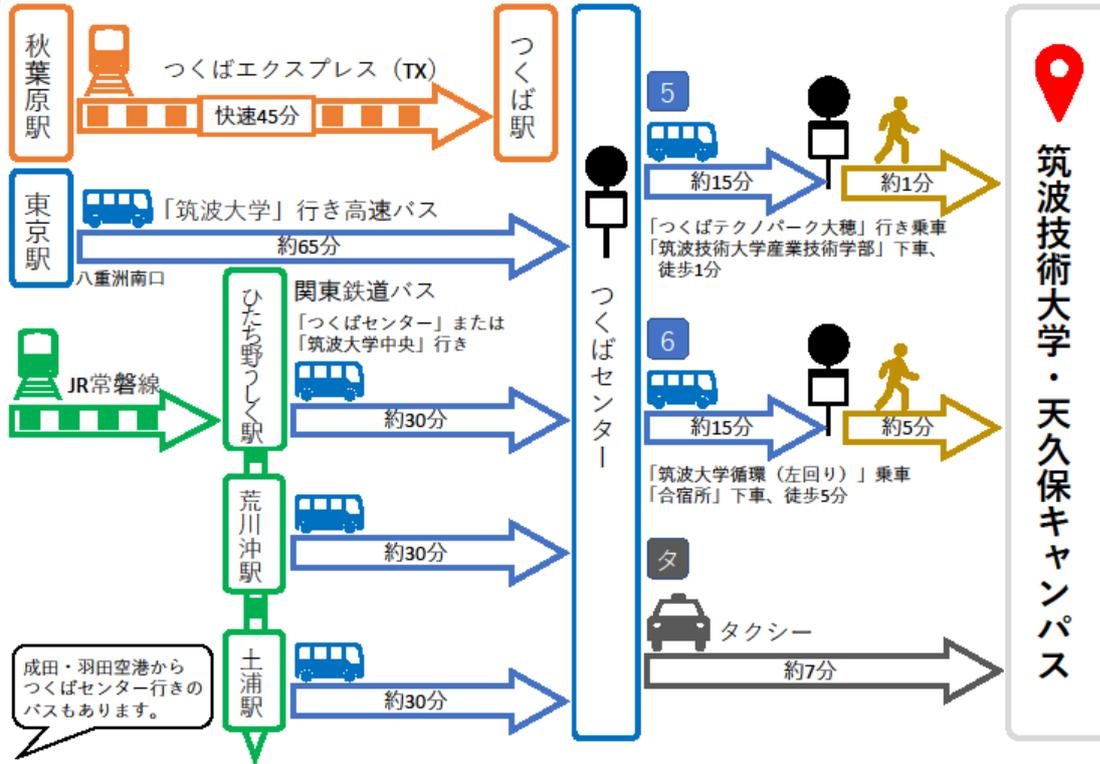


産業技術学部



天久保キャンパス

アクセス





国立大学法人

筑波技術大学

National University Corporation Tsukuba University of Technology

《採用担当》

筑波技術大学 総務課人事係

〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15

TEL:029-858-9308, 9309

FAX:029-858-9312

E-Mail: jinji@ad.tsukuba-tech.ac.jp

<https://www.tsukuba-tech.ac.jp/>